

NEEDS

CORPORATE PROFILE



SOLUTIONS

日本シーカ株式会社
会社案内



Innovation & Consistency | since 1910



Innovation & Consistency

次の100年のために——

スイスで100年を超える歴史を持つ、土木・建築・工業用化学製品のトップメーカー、シーカ。
その長い歴史を支え続けてきたのが、“革新と継続”というポリシーです。



自分たちの事業領域をしっかりと見据え、必要とされるものは何かを現場で考え、新製品を開発、施工技術・指導も含めてお客様に提案する…このことを100年以上にわたり実践してきたこと



が、70を越える国々でビジネスを展開する、シーカの今日を築きあげたのです。その企業姿勢は、もちろん私たち日本シーカにも受け継がれています。優れたシーカ製品を日本の現場向けに調整、施工技術と合わせてお客様にお届けするだけでなく、新製品の開発にも積極的に取り組んでいます。また、一部の製品はアジア・パシフィック地域への供給拠点として製造、輸出も行っています。いま、シーカは“Solutions for Sustainable Future”をスローガンに、将来の環境や次世代への利益を損なわせない製品・技術サービスの開発、提案に業界を率先して取り組んでいます。屋上緑化システム、高反射性シート、セメント製造時のエネルギー効率の向上を実現する製品、無溶剤系のシーリング材や接着剤などがその一例です。

**これからの100年も、業界をリードする存在であるために——
シーカは“Innovation & Consistency”を実践してゆきます。**



100年を超えるシーカの歴史。 それは、アルプスの水との闘いから始まりました。

シーカは、1910年にオーストリア人のカスパー・ウインクラーによって設立されました。チューリッヒの、この小さな化学製品メーカーが一躍脚光を浴びたのは、スイスとイタリアの間を貫く「ザンクト・ゴッドハルト・トンネル」の開通工事に、シーカが開発した製品が採用され、素晴らしい実績をあげたからです。現在ではヨーロッパの物流の重要な幹線として、多くの列車や自動車が行き交うこのトンネルの工事は当時、アルプスの湧水処理というとても大きな問題を抱えていました。その水との闘いを制し、開通へと導いたのがシーカが開発した新しいタイプのモルタル防水剤「シーカ®No.1」だったのです。この大事業での実績によってシーカの名前は世界に広く知れ渡り、今日の成長の礎を築いたのです。



半世紀を超える日本シーカの歴史は、 黒部ダムとともに幕をあけました。

シーカグループの中で、もっとも早くアジア地域に開設された法人が、日本シーカです。世界の最先端で培われた技術とノウハウを持ったシーカの製品は、1955年の日本法人開設とともに本格的に販売が開始されると、たちまち日本のマーケットに認められ、1956年に着工された黒部第四発電所黒部ダムの工事では、施工資材に急結剤の「シーカ® No.4」をはじめ、コンクリート用混和剤、目地材などの製品が採用され、日本最大級のダムの完成に貢献しました。その後も、東海道新幹線の橋脚、東名高速道路、成田新東京国際空港、そして六本木ヒルズ、東京ミッドタウンなど、日本の主要建造物に土木建設関連製品が採用されるのはもちろん、各種車両・船舶・設備機器用の接着剤・シーリング材などの工業関連製品も大手自動車メーカーに採用されるなど、実績をあげてきました。設立から50年以上を経たいま、日本シーカは新製品の研究開発から製造、施工技術の開発まで、アジア・パシフィック地域の重要な事業拠点となっています。



1931年
明治生命ビル地下壁防水工事
セメントモルタル使用。1927年
に初めてシーカ製品がスイスより
日本に輸入されました。

1963年
九州電カーツ瀬ダム
日本初の大型アーチ式ダムにコン
クリート用混和剤プラスチック®
が使用されました。

1988年
青函トンネル
吹付けコンクリート用急結剤シグ
ニット®-Lが使用されました。

1997年
京都駅 新駅舎
2成分形シーリング材が使用され
ました。

2006年
六本木ヒルズ
コンクリート用混和剤シーカメン
ト®1100NTが使用されました。

Sika Japan

Focus on Four Customer

現場にもっとも近いサプライヤーであることを、私たちは目指します。

日本の建築技術は、その建築工法から資材の品質まで、あらゆる面において世界のトップレベルを誇ります。それは自動車や家電など、産業メーカーにおいても同様です。このように世界的にもっとも高い品質・技術水準を要求されるマーケットの中で、トータル・ソリューション・サプライヤーとしてお客様に認められる提案を行っていくためには、現場を熟知することが必要不可欠であると私たちは考えます。そのため、日本シーカでは「コンクリート」「コントラクターズ」「ディストリビューション」「インダストリー」の4つのビジネスユニットを展開していますが、どのユニットのスタッフも現場に

立って必要な情報を集めること、お客様の話に耳を傾けることに、多くの時間を費やしています。その上で、シーカグループの豊富な製品・施工技術から、お客様に最適なものを日本の現場に合わせて調整、あるいは日本独自に製品・施工システムを開発し、提案しています。シーカの5つの事業分野である、Sealing(シーリング)、Bonding(接着)、Damping(制振)、Reinforcing(補強)、Protecting(保護)のそれぞれにおいて、現場にもっとも近いトータル・ソリューション・サプライヤーとして、お客様のベストパートナーとなることを目指しています。



Customer Groups

- 生コンクリート
- プレキャストコンクリート
- 現場打設
- 一般建築物建築業者
- 土木建設業者
- セメント製造業者

Product Groups

- 減水剤
- 硬化調整剤
- 耐久性改良剤
- コンクリート補助材
- ショットクリート改良剤
- スペシャリスト向け機械
- セメント改良剤

- 塗り床材
- 目地シーリング材
- 木質系床用接着剤
- 構造補強
- コンクリート補修・保護
- 塗装
- 防水
- 屋上防水

Groups

Sika's Core Competencies シーカ事業の核、5つの専門技術

Sealing シーリング

気体から液体、熱気・冷気
そして微細なほこりまで一
あらゆるものの流入出を
最小限に抑え、内部空間の機密性を
高め最適な状態に保ちます。

Bonding 接着

さまざまな素材・材料の、
デザインの自由度を最大限に
高めながら半永久的に結合、
最終製品としての耐久性を
向上させます。

Damping 制振

制振材により、あらゆる波長の
振動を低減、支持構造物や
中空部から放出される騒音を
減少させます。

Reinforcing 補強

静荷重や動荷重のかかる支持構造物の
許容負荷荷重を高め、構造物の耐久性の
向上を実現します。

Protecting 保護

水分、湿気、熱、ほこりなど、
さまざまな環境・条件から
建造物を保護します。



Distribution



Industry



- 建材店
- 床仕上げ業者
- 屋上防水業者
- 塗装業者
- ホームセンター
- 工具店

Customer Groups

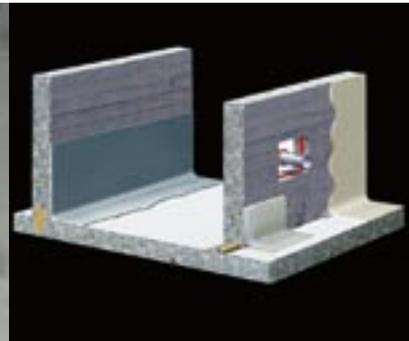
- オートモーティブ
- オートモーティブ アフターマーケット
- 輸送車両
- 設備機器

Concrete

いつの時代も最新の建築工法を支える、シーカのコンストラクション・テクノロジー。

最適な状態でコンクリート製造を可能にし、より高い強度、施工性、耐久性をもたらすコンクリート用混和剤。シーカはその混和剤のパイオニアとして創業以来、数々の優れた製品を開発、世界のマーケットに送り出してきました。シーカの混和剤が世界各国で高い評価を得ているのは、その品質の高さはもちろん、優れた技術サービスを合わせて提供しているからです。日本においても、お客様の要望をいち早くつかみ、建築環境に合わせた最適な製品と施工ノウハウを提案しております。その結果が東京ミッドタウンをはじめとする、時代を代表する最新の建築物への採用実績へと結びついています。また、私たちは新しい建築工法に求められる混和剤製品を提供しているだけでなく、混和剤の開発で培ってきた技術とノウハウをもとに、つねに新しい製品・技術を市場に提案しています。たとえば、従来の粉体急結剤では避けられなかった粉塵を低減し、さらに施工システムを簡略化するトンネル工事用のアルカリフリー液体急結剤、セメントの粉砕効率を向上させる粉砕助剤、そしてヨーロッパで多くの施工実績を誇る地下防水関連製品など、さまざまな製品を開発し提案しています。





汐留シオサイトビル群

汐留シオサイトと名付けられた複合型大規模再開発プロジェクトは、旧国鉄汐留貨物駅跡地から浜松町駅に至る約31ヘクタールが対象であり、都市の機能を数々併せ持ちます。11の街区にビルが林立し、これらにシーカメント®1100NTが使用されています。



液体急結剤使用コンクリート吹付け風景

トンネル内でアルカリフリー液体急結剤を使用したコンクリートの吹付けを行っているところです。粉体急結剤を使用した場合と比較して、粉じんが少なく、リバウンドのコンクリートも減少します。



いわき平競輪場

いわき競輪場はプレキャストコンクリート工場で作成された部材を現場で組み立てる、プレキャスト工法で建設されています。プレキャストコンクリートにはシーカメント®2200が使用されています。

Contractors

私たちは、10年、20年と続く建物の「未来」への提案も行っています。

ご存知のように、コンクリート構造物は数10年の単位で使われ続けるものです。そこで日本シーカでは、トンネル、橋梁などの土木関連を中心に、ビル、高層マンションなど、さまざまなコンクリート構造物に関するお客様からの補修・保護・補強のご相談に対して、10年先、20年先を見据えた、長いスパンでの補修・改修計画を提案しています。豊富な補修関連製品、密接な技術サービス、そして迅速な営業サポートを通して、お客様に信頼していただき、長いお付き合いを続けることが、日本シーカの補修・保護・補強サービスの特長です。また、私たちは日本の「防水」のスペシャリストとなることも目指しています。シーカグループの歴史は、防水からはじまりました。その長い歴史の中で培われた技術とノウハウのすべてを凝縮したのが、シーカの防水関連システムです。マンションの屋上・床防水から、道路など土木関連の防水まで、さまざまな場面に最適な防水システムを提案します。特にサーナフィルの屋上防水シートは、その優れた耐候性と施工性の良さから、2009年にシーカのラインナップに加わって以来、多くの建物に採用され高い評価をいただいています。





構造補強

炭素繊維補強材との組み合わせで使用される接着剤は、あらゆる構造材との一体化に性能を発揮します。歴史的建造物の維持保全や補強工事において、コンクリート、木造材、鋼構造材にも多く採用されています。



サーナフィル

2009年より日本市場に導入した高品質屋上防水シートの「サーナフィル」シリーズ。上海のシーカ・サーナフィル社は同年に中国で初のJIS工場として認定されました。



塗膜防水製品

2009年から取り扱いを開始した塗膜防水製品による外壁施工事例(福岡県北九州市)



Distribution

全国のさまざまな現場で、お客様の抱える問題を解決へと導いています。

日本シーカではお客様の詳細な要求にお応えするために、定番として業界で根強い人気を誇るシーリング材「ベルエース®」や「デュアリボン®」、クリーンルームのような特殊な現場向けに日本で開発・製造された「シーカフレックス®-SCR」など、多様な製品をラインナップしています。また、製品に加えて施工性の良さと環境面に優れた工法として高い評価をいただいているシーカ独自の「SKグラウトプラグ工法」をはじめとする補修工法も提供。中・大型マンション、高層ビル、さらに土木関連まで、さまざまなコンクリート構造物の補修、保護、補強に私たちの製品と工法が使われています。また、日本各地でセミナーを定期的で開催したり、シーリング材や接着剤の指導資格を持ったスタッフが現場で施工指導を実施するなど、製品と工法のポテンシャルを100%発揮していただくためのサポートにも積極的に取り組んでいます。さらに、製品をより効果的に活用するためのアイデア提案、ソリューション提案も行っています。これからも、お客様の話に耳を傾けることで問題点を把握し、問題を解決するための製品と施工技術を提供してゆきます。





明石海峡大橋(SKグラウトプラグ工法)

コンクリート構造物のひび割れに対して、低圧・低速で連続的にエポキシ樹脂の粘度を切り換えながら注入することが可能で、圧力と注入量の管理も容易に行える注入工法です。この工法は、建物を傷つけることのないノンカット工法なので、騒音やホコリの発生がなく居住者や作業員など環境面にも配慮した工法です。



豊平峡ダム(シーカフレックス®-PRO2UV 土木)

ダムや用水路など、土木特有の厳しい条件をクリアするのもシーリング材の使命。シーカの土木用シーリング材は、極寒地域や高い水圧といった厳しい環境に於いてもその役割を果たしています。



京都駅(シーカフレックス®-MS, -PUNB シーカ®シル-SI)

日本を代表する古都の街の玄関である京都駅。耐候性・耐久性の高いシーカのシーリング材は、長期にわたり水密性を維持します。



金沢21世紀美術館(シーカフレックス®-PS, -PUNB)

「まちに開かれた公園のような美術館」をコンセプトに現代アート作品を展示する周囲と美しく調和する美術館です。その金沢の代表的な美術館に使用されているシーカのシーリング材は美しさにもこだわります。

Industry

自動車から家電まで、幅広い分野で活用されるシーカのインダストリー・テクノロジー。

■**輸送車両・自動車**／バス、トラック、鉄道車両などの輸送車両、そして自動車に対して、接着、シーリング、遮音、制振に関連する製品を提供しています。なかでも接着剤は、従来の機械的接合を化学的接合に転換することで、デザインの自由度を拡大、生産性と品質の向上、コストダウンをお客様にもたらしめます。また、日本シーカのテクノロジー・センターは、サステナビリティ(持続可能性)を重視しています。今後予想される、従来以上の環境基準を目標にした製品の開発に取り組んでいます。

■**マリン**／マリンマーケット向けの製品群は、難燃性シーリング材、弾性接着剤、チークデッキコーキングシステム、ガラス用接着剤などです。これらの製品を、プレジャーボートから貨物船、豪華客船に至るまで、あらゆる船舶に提供しています。特に弾性接着工法は、新しい時代の造船技術として注目を集めています。また、シーカクファダンの総合フロアシステムは、重量低減、室内騒音低減、断熱性といった床材に求められる課題をクリア、マリン専用床材のスタンダードとなっています。





自動車

シーカの自動車用接着剤・シーリング材は、車両軽量化による燃費向上や環境負荷低減、乗員が快適に過ごすことのできる車内空間を実現するための、トータルな解決策を提供します。



バス・トラック

シーカの弾性接着技術を量産ラインに導入することで、デザイン性の向上、生産工程における工数の削減、タクトの短縮、材料費、原動費低減の達成を可能にします。



マリン

世界の造船業において、接着やシーリング、防火処理、デッキコーキング、制振等、様々なアプリケーションに対応いたします。



建機・特殊車両

建設機械、農業用機械、消防車・救急車などの特殊車両の分野においても、接着、シーリング及び制振に関する高度な解決策を提供します。

Industry

つねに一歩進んだ製品と技術を、さまざまなマーケットに提供しています。

■**アフターマーケット**／おもなフィールドは、自動車のガラス交換とボディー補修です。特にガラス交換用接着剤は、プロ仕様はもちろんオールラウンド製品もラインナップし、業界のスタンダードとして認められています。ボディー補修製品は、通常のシーリングからさまざまな形状仕上げまで、その高い品質、仕上がりとバランスの良さが特長です。また、2009年に新しい製造設備を平塚工場に導入、ほとんどの製品を日本国内で製造することが可能になりました。これにより、従来にもましてフレッシュな製品を、迅速にお届けする体制が整いました。

■**設備機器**／設備機器は、電気機器と建築・住宅用機器の2つのマーケットに大きく分かれ、それぞれにシーリング材、接着剤、制振材などの製品を提供しています。電気機器では、業務用・家庭用の電気製品、自動販売機、電子部品などで弾性接着剤を中心とした製品が採用されています。建築・住宅用機器では、窓、ドア、システムキッチン、床、エレベーター、風力発電機、ソーラーパネル、合弁浄化槽などに、さまざまな製品が使われています。どちらのマーケットでも、お客様の問題解決につながる、優れた製品と技術をお届けしています。





アフターマーケット

シーカは、世界最高クラスの安全基準に注力し、自動車メーカーの設計要求にも応えられるフロントガラス用接着剤を開発しています。



衝突試験

シーカは接着剤を塗布してから安全に走行できるまでの時間＝安全走行可能時間(SDAT)を製品や施工条件により設定・推奨。コンピューターシュミレーションや車輻衝突テスト(米国規格:FMVSS 212/208)などで実証しています。

ソーラーパネル

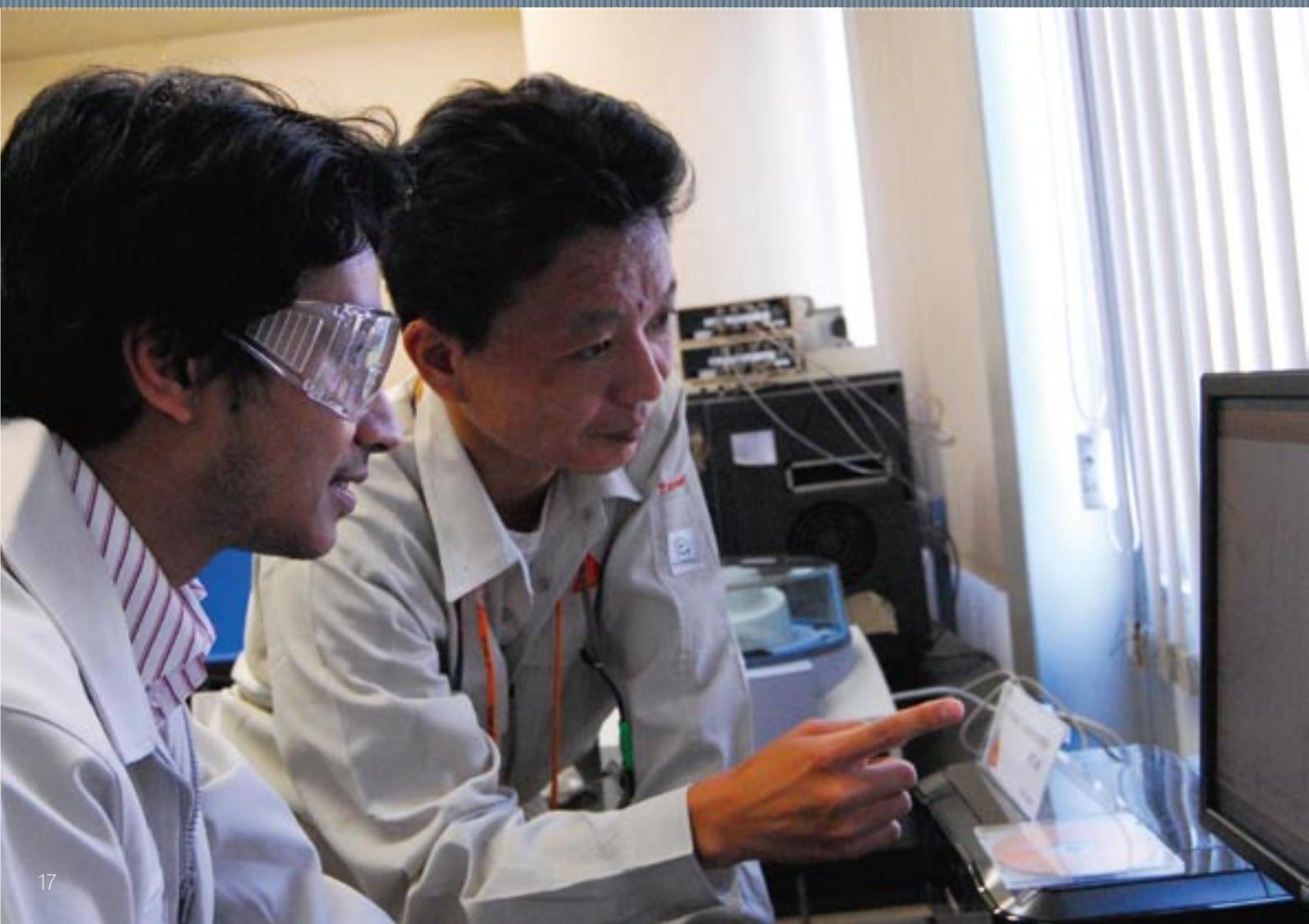
太陽光発電のシーリングと接着の分野において、シーカは最先端の技術的な解決策を提案いたします。グローバルでの豊富な経験をもとに、生産プロセスの改善や設備導入に至るまで、カスタマーサポートも充実しています。

Research & Development

世界の優れた製品と技術を日本へ、
日本で開発した製品と技術を世界へ。

シーカグループならではの グローバルな情報共有化による 強力なシナジー——

“Innovation & Consistency” このスローガンをシーカが100年以上も実践し、つねに最先端の製品と施工技術をお客様に提案し続けてこられたのは、シーカが研究開発に大きな力を注いでいるからに他なりません。基礎研究を担うスイス中央研究所を頂点に、ドイツ(2拠点)、フランス、スペイン、アメリカ(2拠点)、インド、中国、日本の8カ国にテクノロジー・センターを設置するだけでなく、現地法人を置いたほとんどの国にローカルラボを展開。これら世界中の研究開発拠点が各国の最新情報、技術、ノウハウを共有し、既存製品と施工方法をローカルエリアに適合させるための研究開発、新製品開発に取り組んでいます。





アジア・パシフィック 地域の研究開発拠点

日本シーカのテクノロジーセンター

平塚工場に併設された日本シーカのテクノロジーセンターは、日本だけでなくアジア・パシフィック地域の研究開発拠点として活動しています。高い品質を求められる日本のマーケットのために独自に開発した製品や施工技術が、世界標準となっている例も少なくありません。また、高度成長期に作られた建築物の保守に目を向けた製品の開発といった、社会的なテーマについて大学と連携して取り組むなど、産学連携の研究開発でも実績を上げています。



スイス中央研究所

低粘度から高粘度まで、高まる製品供給力— HVプロジェクト

日本シーカは、アジア・パシフィック地域の研究開発拠点だけでなく、製品の供給センターとしての役割も担っています。中国をはじめ、著しい成長を遂げるアジアの国々では、シーカ製品の需要が年々高まっています。そこで、増え続けるアジア・パシフィック地域の需要により迅速に 대응するために、2009年、日本シーカの平塚工場に製造設備を新設しました。これにより、低粘度接着剤、シーリング材、混和剤に加え、従来は100%ヨーロッパから輸入していた高粘度接着剤も国内での製造が可能となり、アジア・パシフィック地域の需要に応えることはもちろん、日本のお客様によりフレッシュな製品を迅速にお届けできるようになりました。



Service & Total Support

製品の提案から導入後のフォローまで、
お客様をフルサポートします。

私たち日本シーカとお客様のお付き合いは、単に製品をご購入
いただいて終了、といったものではありません。もちろん製品
の分野によって異なりますが、お客様の抱える問題をお伺いす
るところから始まり、その問題が解決するまでの過程を細かく
サポートしてゆきます。例えばシーリング材では、製品に関す
るコンサルティング、施工対象の素材やデザインに合わせた配
合・調合調整、各種試験、施工に必要な装置に関するアドバイ
ス、専門のトレーナーによる施工技術トレーニング、さらに施
工後の状態確認までを、つねにお客様と相談しながら進めて
いきます。また、接着剤ではご使用いただく製品の塗布装置を
はじめとする各種装置の選択から、接着方法・プロセスの提案、
さらに製造ラインに関するアドバイスまでも行っています。製
品や工法に関する豊富なデータ・ノウハウに加え、つねに世界
の最新情報にアンテナを向けている研究開発スタッフ、製品は
もちろん工法まで熟知し、実際に現場で施工指導までできる
技術サービススタッフなど、各製品分野のスペシャリストが万
全のサービス体制を整えて、あらゆる場面でお客様をサポート
してゆきます。





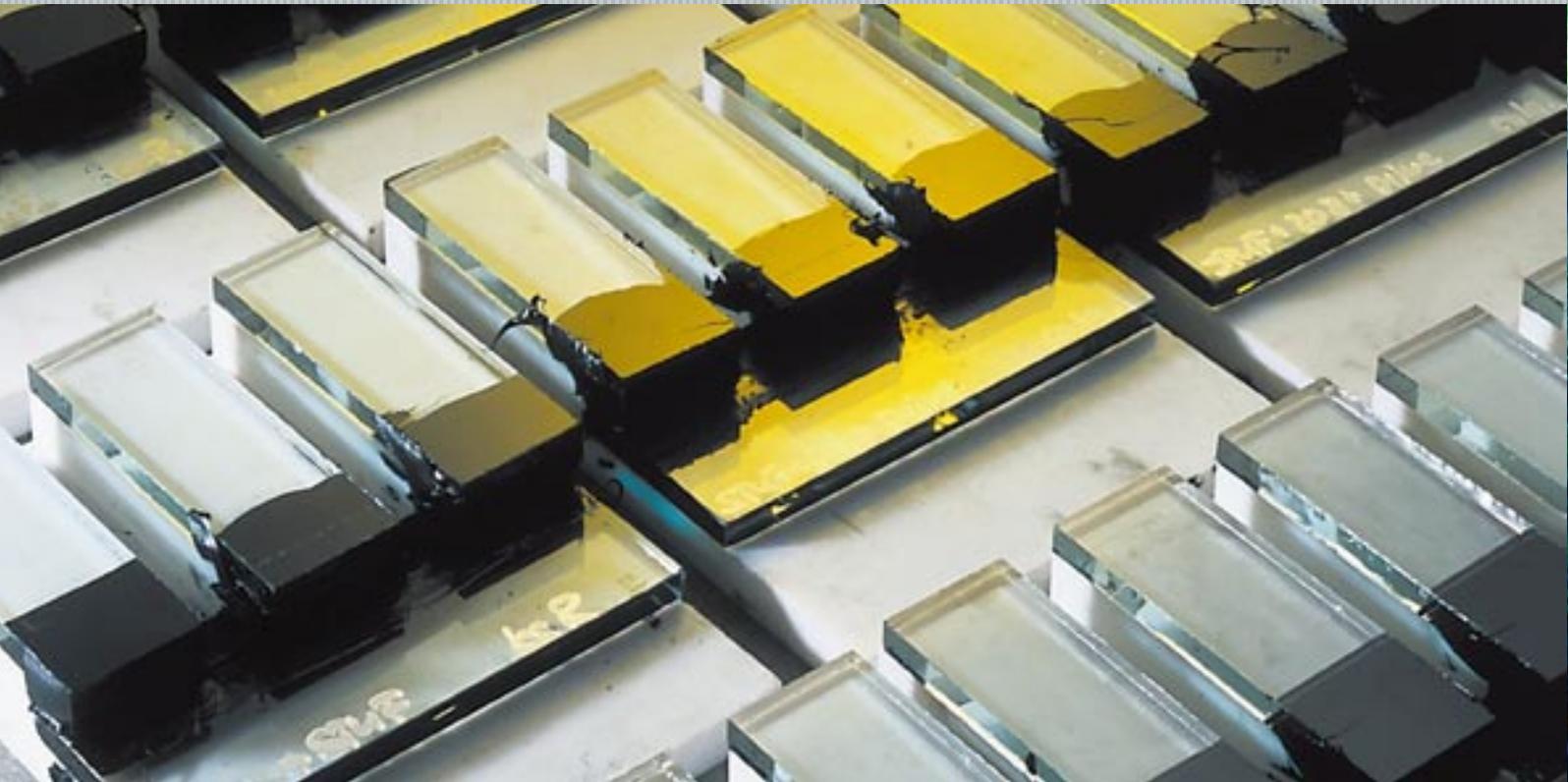
サプライチェーン

ビジネスユニットに合わせた供給体制を構築し、
お客様のニーズに迅速にお応えします。

どんなに優れた製品でも、お客様が必要なときに、必要な場所に届いていなければ意味がありません。とくに日本シーカの主力製品のひとつであるコンクリート用混和剤は、納品日時の正確性が厳しく求められる製品です。そこで日本シーカでは、コンクリート、コントラクターズ、ディストリビューション、インダストリーの4つのビジネスユニットに合わせたサプライチェーンを構築し、在庫の適正化や配送時間の短縮を実現しました。これによって受注後より迅速な配送も可能となりました。また、各製品の在庫期間が短くなったことにより、お客様によりフレッシュな製品をお届けすることができるようになりました。

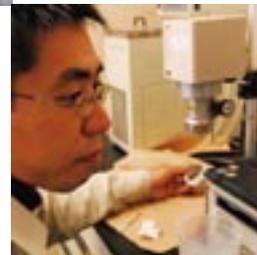


Total Quality



つねに変わらない品質をお届けすることを、シーカはお約束します。

お客様にお届けする製品は、つねに変わらない品質であることが絶対の条件です。どんなに性能が優れていても、施工のたびに品質が変わっては製品として不合格です。そのために、日本シーカでは研究開発の段階からお客様のもとに製品が届くまでの、すべてのプロセスに徹底した品質管理システムを導入、変わらない安定した品質の製品供給を実現しています。その取り組みは、最も品質に厳格とされる自動車業界からも認められ、納入実績の向上をもたらしています。また、エコロジーの視点を品質管理に取り込むことで、原料のロス削減、再利用にも取り組んでいます。



認証取得：平塚・小野・新南陽



シーカは問い続けます——これからの地球環境に、できることは何か。

EHSとは、Environment(環境)、Health(健康)、Safety(安全)の頭文字をとったもので、企業
がその社会的責任において、人々が健やかで安全に過ごせる環境づくりに貢献することを目的
とした活動です。シーカグループでは、1986
年にEHSをスローガンに地球環境に影響を与
えない製品づくりをスタート、製品の開発、製



造、販売、施工、廃棄のすべてにわたりEHSを実践しています。アスベスト
をはじめとする発ガン性物質やオゾン層の破壊につながる塩素系溶剤の
撤廃、ソーセージタイプの容器に代表される廃材を最小限に抑えたパッ
ッケージの開発、独自に開発した装置による廃溶剤の再利用などの実績をあ
げてきました。また、日本シーカは1995年に「レスポシブル・ケア協議会」
に加入、さらに1998年には国際環境マネジメントシステムISO14001の
認証を取得するなど、EHSへの取り組みを深めています。



認証取得：平塚・小野・新南陽



レスポシブル・ケア

レスポシブル・ケア協議会

化学物質を製造あるいは取り扱う事業者が、
化学物質の開発から廃棄にいたる全ライフサイクルにわたり、
環境・健康・安全を確保するために自主管理活動を行うことを目指して
1995年に日本化学工業協会によって設立された協会です。





For a Sustainable Future

持続可能な社会の実現、それは私たちの責任です。

持続可能な発展。この言葉が登場してから20年近くが経とうとしています。その間、世界中の人々が国、地域、企業、個人のそれぞれのレベルで地球の資源とエネルギーの消費を抑えるためのさまざまな活動を行い、持続可能な発展ができる社会づくりに取り組んできました。もちろんシーカも例外ではありません。都市環境、社会環境、さらに生活環境に密接に関わる製品を扱う私たちにとって、この問題に取り組むことは当然の社会的責任であると考え、持続可能な社会の実現に向けた製品・技術の開発を積極的に進めてきました。具体的には、土木建築分野でいえばセメントの製造工程で発生するCO₂を削減する混和剤や、セメント製造時に消費するエネルギーを低減する製品などがあります。シーリング材関連では、建物の屋上防水シートに高反射性のもを用いることで冷房コストの低減(=CO₂の低減)を実現したり、屋上防水をソーラー・モジュールや屋上緑化システムと合わせて提案することもあります。さらに、風力発電用の風車のブレードや、太陽発電のソーラーパネルの接続部品用に従来の機械的接合(溶接)よりも強力な接着剤を開発、世界各国で採用されています。持続可能な発展ができる社会づくりに、終わりはありません。私たちのスローガンである“Solutions for Sustainable Future”を実現するために、活動を続けます。



風力発電機の製造から設置まで、全ての工程でシーカの製品が使われています。



ソーラー発電機を設置するには、環境負荷の極めて少ない材料が必要とされます。



屋上緑化システムは、大気汚染を抑制し、エネルギー消費を低減させます。



世界に広がるシーカグループのネットワークが、 お客様をサポートします。

世界70カ国以上に展開する、シーカグループのネットワーク。そこには世界の最新情報はもちろん、各国で蓄積されてきた豊富な製品データ、培われてきた施工技術のノウハウなど、お客様の抱える問題を解決へと導く情報やヒントがあふれています。そのさまざまなデータや情報が、問題の迅速な解決に貢献しています。お客様のパートナーである日本シーカの後ろには、世界のシーカが控えているのです。

国内拠点も、有機的にネットワークしています。

日本シーカは、品川本社を中心に、平塚工場と併設されたテクノロジー・センター、小野工場(兵庫県)、新南陽工場(山口県)の3つの生産拠点、そして全国をカバーする営業ネットワークで構成されています。それぞれの拠点を有機的に結びつけ、ジャスト・イン・タイムで製品とサービスを提供できる体制を整えています。

Sika - a Global Player



日本シーカ 国内拠点



平塚工場・研究所



小野工場



新南陽工場

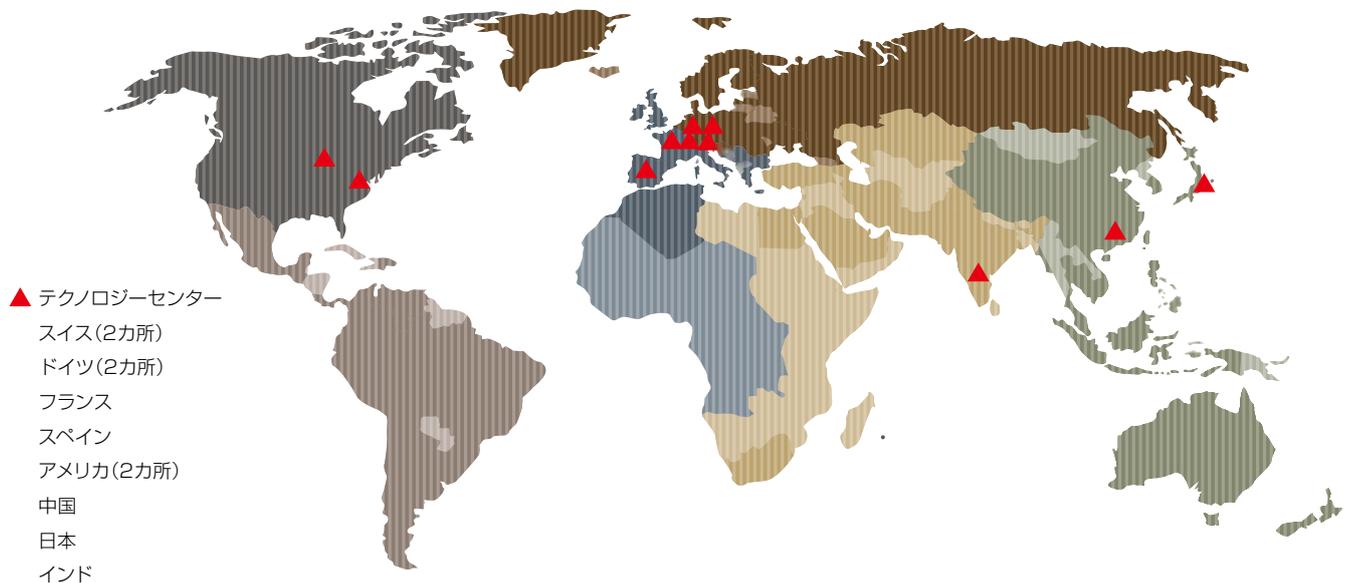


大阪営業所



大阪テクニカルセンター

シーカグループ グローバル市場展開



北米
売上高 614.4



北欧
売上高 1336.2



インド、中近東、アフリカ
売上高 263.9



中南米
売上高 507.3



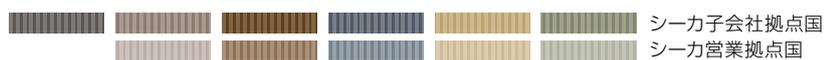
南欧
売上高 813.2



アジア/パシフィック
売上高 776.7

単位/百万スイスフラン

シーカ・グループ全体の従業員数 15,254名



Sika AG 2011 Annual Report より



日本シーカ株式会社
〒108-6110 東京都港区港南2-15-2
品川インターシティB棟10階
TEL 03-6433-2101 FAX 03-6433-2102
<http://www.sika-japan.co.jp/>



認証取得：平塚・小野・新南陽